

D P	C P	1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A-2 多様な文化に関する基礎知識、およびその歴史的・思想的背景に関する幅広い教養を修得している。	A-2 大学での学修の前提となる基礎知識と教養を身につけるための文化論部門科目、学部での学修に共通する諸分野について理解を深めるための学部共通部門科目、および資格取得のための自由選択部門科目を1年次より配置する。	△文化コース基礎論a △文化コース基礎論b △文化コース基礎論c △文化コース基礎論d △文化コース基礎論e △文化コース基礎論f 文化のダイナミズムA 社会調査法 マクロ経済学 I	△文化コース基礎論a △文化コース基礎論b △文化コース基礎論c △文化コース基礎論d △文化コース基礎論e △文化コース基礎論f 文化のダイナミズムB 質的データ分析論 世界と日本の経済	現代哲学思想A 世界史概論A 日本史概論A 中国史A アメリカ史A ヨーロッパ史A 宗教学A 文化社会学A 文化創造論A 人文地理学A 地誌学A 自然地理学A 日本民俗学A 漢文A 考古学A 古文書学A ヨーロッパ・ケルト文化論A 比較文化概論A 社会福祉調査法 世界経済論 政治学原論 I	現代哲学思想B 世界史概論B 日本史概論B 中国史B アメリカ史B ヨーロッパ史B 宗教学B 文化社会学B 文化創造論B 人文地理学B 地誌学B 自然地理学B 日本民俗学B 漢文B 考古学B 古文書学B ヨーロッパ・ケルト文化論B 比較文化概論B 国際法 政治学原論 II	社会調査実習A	社期調査実習B		
				日本文化史A 日本文化論A 日本文学論A 東アジア文化交流論A 日本社会論A 中国・アジア文化史A 東アジア思想A 中国文学概論A 中国民族文化論A 東アジア文化論A アメリカ・太平洋文化史A アメリカ社会文化論A ヨーロッパ・地中海文化史A ヨーロッパ文学論A ドイツ文化論A 地中海都市文化論A 地中海宗教文化論A 比較文化論A 現代思想文化論A 比較社会文化論A 文化人類学A 比較言語文化論A 表象文化史A 表象文化論A 表象メディア論A 美学・芸術学A 芸術文化史A 専門外国語（英語）A 専門外国語（中国語）A 専門外国語（フランス語）A 専門外国語（ドイツ語）A 専門外国語（韓国語）A 専門外国語（イタリア語）A 専門外国語（古典語）A	日本文化史B 日本文化論B 日本文学論B 東アジア文化交流論B 日本社会論B 中国・アジア文化史B 東アジア思想B 中国文学概論B 中国民族文化論B 東アジア文化論B アメリカ・太平洋文化史B アメリカ社会文化論B ヨーロッパ・地中海文化史B ヨーロッパ文学論B ドイツ文化論B 地中海都市文化論B 地中海宗教文化論B 比較文化論B 現代思想文化論B 比較社会文化論B 文化人類学B 比較言語文化論B 表象文化史B 表象文化論B 表象メディア論B 美学・芸術学B 芸術文化史B 専門外国語（英語）B 専門外国語（中国語）B 専門外国語（フランス語）B 専門外国語（ドイツ語）B 専門外国語（韓国語）B 専門外国語（イタリア語）B 専門外国語（古典語）B	アメリカ思想文化論A アメリカ宗教文化論A	アメリカ思想文化論B アメリカ宗教文化論B		
A-3 文化事象について学術的に考察するための専門知識と方法論、および文献読解に必要な語学力を修得している。	A-3 系やコースでの学修に必要な専門知識と方法論を修得するための系・コース専攻部門科目、および高度な語学力を涵養するための専門外国語部門科目を、それぞれ2年次より配置する。								
B-2 多様な媒体から信頼しうる情報を取捨選択して適切に活用できるメディア・リテラシー、および異文化理解のために必要な読解力を身につけている。	B-2 大学での学修の前提となる基本的なリテラシーと正確な読解力を修得するための演習・卒業論文部門科目（基礎演習）を1年次に配置する。	◎基礎演習A 海外語学学修I 基礎統計学	◎基礎演習B 海外語学学修II						
B-3 読書と議論を通じて自己の意見を柔軟に練り上げるための思考力と対話力、およびそれを明確かつ論理的に表現するための文章力と発言力を身につけている。	B-3 専門的研究に必要な思考と解釈の力を養い、その表現と発信の方法を体系的に学ぶための演習・卒業論文部門科目（導入演習）を2年次に配置する。			◎導入演習A 国際政治学	◎導入演習B				
C-2 歴史と文化についての知識と思索を踏まえて研究課題を自ら設定し、主体的に考察することができる。	C-2 自己の問題意識に基づき研究を立案・遂行するプロセスを学ぶための演習・卒業論文部門科目（専門演習）を3年次に、現地で学修や調査を通じて異文化を体験するための自由研究科目を1年次に、それぞれ配置する。					◎専門演習A	◎専門演習B		
C-3 現代社会における文化の役割を理解した上で、異文化間の相互交流と新たな文化の創造に寄与することができる。	C-3 学修と異文化体験の成果を学術論文へと創造的に昇華し、その今日的意義を追求するための演習・卒業論文部門（卒論演習および卒業論文）を4年次に配置する。							◎卒論演習A ◎卒論演習B ◎卒業論文	
D-2 自己の価値観について客観的に反省できる批判精神、および他者の文化の多様性を理解し尊重できる寛容さを身につけている。	D-2 多様な文化を学ぶことを通じて自身のアイデンティティを常に問い直し、柔軟な世界観を養うための専攻科目（全部門）を1年次より配置する。				全科目				
D-3 学術を単なる手段とみなすことなく、文化を学ぶこと自体に喜びを見出し、その愉悅を他の人々と共有することができる。	D-3 教員による研究成果を教育現場へとフィードバックし、学生の知的好奇心と探究心を刺激し鼓舞するための専攻科目（全部門）を1年次より配置する。				全科目				

※◎は必修科目、△は選択必修科目を表す。